



DOCOMO TEAM DANDELION RACING Team Release

Official TEST Report 2018/3/28～29 富士スピードウェイ 2nd Official test

今シーズンの開幕前最後となるスーパーフォーミュラ第2回合同テスト富士スピードウェイは、やや風が強いものの暖かな快晴の下で行われた。

DOCOMO TEAM DANDELION RACINGの2台はそれぞれ、2018シーズンから導入される2スペックタイヤのシミュレーションや、新たなセットアップの確認、これまでの課題などをテーマに、メニューを消化してゆく。

チームは予選アタック、決勝ロングラン、様々なセットアップの確認を順調に消化。

野尻選手は2日目のタイムアタック・シミュレーションで2日間総合トップタイムをマーク。

松下選手は、スーパーフォーミュラで初めて走行する富士スピードウェイの習熟、ピットストップやスタート練習も行った。レースシミュレーションでは常にトップタイムで周回を重ね、シーズン本戦を見据えた戦略やタイヤ摩耗などのテストを精力的に行った。

今やベテランとなった野尻選手と、ヨーロッパ帰りの若手松下選手のコンビネーションで迎える3週間後の鈴鹿サーキットは、開幕戦から目が離せない展開となりそうだ。

5：野尻智紀 選手 総合1位 (ホンダ勢1位)

2日間通して総合トップタイムをマークできたことはポジティブにとらえています。

比較的富士を不得手としていたのですが、克服出来つつあると感じています。

どのサーキットでも速く走ることが出来るよう、しっかりと今ある課題に目を背けず、短い開幕までの時間に更なる上積みをおこなうように、準備を整えて鈴鹿を迎えたいです。

6：松下信治 選手 総合19位 (ホンダ勢8位)

鈴鹿と違って富士ではコース特性も違うため、色々なテーマを持って臨みました。

1日目はバランスも悪くて、その中でも様々なトライから改善が体感できました。

2日目にはパフォーマンスも良く、チームとしても野尻選手がトップタイムを記録し、僕は渋滞にはまってしまいアタックは不発に終わりましたが、ロングランでは安定してトップクラスのタイムを記録する事も出来、非常に前向きなテストになりました。

いよいよ迎える開幕戦に向けて、チームと共にしっかりと準備します。